

(3) ICT の活用を推進するための有効な取り組み状況

ICT 機器の活用に関する専門スタッフがいるなど、
技術的にサポートできる体制について、

「ある」「どちらかといえば、ある」と回答した小・中学校の割合は約 70%でした。
昨年度と比べて約 15 ポイント増加しました。

(4) 用途ごとの活用状況

児童生徒の特性・学習進度等に応じた指導への活用状況について、

「ほぼ毎日」「週 3 回以上」「週 1 回以上」と
回答した小学校の割合は約 50%、中学校の割合は約 35%でした。

文部科学省は、ICT 環境の整備・活用を促進するために、

「GIGA スクール運営支援センター」による支援など、
さまざまな取り組みを実施しています。

▼令和 4 年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料

<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/index.html>

▼令和 4 年度 全国学力・学習状況調査の結果（概要）

<https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/22summary.pdf>

◇◆ トピックス (2)

情報処理推進機構「夏休みにおける情報セキュリティに関する注意喚起」を公開

.....◆◇

情報処理推進機構（IPA）は 8 月 3 日、

「夏休みにおける情報セキュリティに関する注意喚起」を公開しました。

長期休暇の時期は、「システム管理者が不在になる」

「友人や家族と旅行に行く」などいつもと違う状況になります。

そのため、セキュリティトラブルへの対応が遅れたり、

SNS のトラブルが起こったりしやすくなります。

これらの事態にならないよう、

管理者や組織の利用者、個人の利用者に向けて、

休暇中や休暇明けのセキュリティ対策が取りまとめられています。

(1) 管理者

・ OS や各種ソフトウェアの修正プログラムが公開されているかを確認し、適用する。

- ・電子メールの送受信やウェブサイトの閲覧などを行う前に定義ファイルを更新し、最新の状態にする。

(2) 組織の利用者

- ・持ち出したパソコンなどの機器やデータは、ウイルス感染や紛失、盗難などによって情報漏えいしないよう厳重に管理する。
- ・持ち出したパソコンや、データを保存していたUSBメモリなどがウイルスに感染していないか、セキュリティソフトでウイルススキャンする。

(3) 個人の利用者

- ・行楽などの外出前や外出先での SNS 投稿内容に注意する。
- ・偽のセキュリティ警告にだまされないよう、あらかじめ、利用しているセキュリティソフトのマニュアルなどで本物の警告画面を確認しておく。
- ・不審なメールや SMS の添付ファイルや URL を不用意に開かない。

特に、長期休暇明けは確認しなければならないメールが多いため、業務開始前にしっかり点検し、セキュリティ対策を振り返りましょう。

▼夏休みにおける情報セキュリティに関する注意喚起

<https://www.ipa.go.jp/security/topics/alert20220803.html>

▼長期休暇における情報セキュリティ対策

<https://www.ipa.go.jp/security/measures/vacation.html>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2022年8月18日調査）

☆★ (1) 誤送信：9件 (2) 紛失・置き忘れ：7件 (3) 誤配布：4件
(4) 誤掲示：3件 (5) 不正アクセス：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2022年7月13日～2022年8月18日に合計24件の事故が発生しました。
情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

(1) 誤送信

福岡県 2022年7月13日 市立中学校 電子メール 1,621件

茨城県 2022年7月14日 公立保育園・保育所 電子メール 70件
鹿児島県 2022年7月20日 市児童クラブ FAX 2件
茨城県 2022年7月22日 市立小学校 電子メール 1件
愛媛県 2022年7月27日 公立保育園・保育所 電子メール 2件
北海道 2022年8月2日 道立高等学校 電子メール 1件
静岡県 2022年8月4日 県立大学 電子メール 242件
大阪府 2022年8月5日 公立高等学校 電子メール 8件
島根県 2022年8月9日 市立小学校 電子メール 5件

(2) 紛失・置き忘れ

埼玉県 2022年7月19日 県立高等学校 書類 79件
神奈川県 2022年7月21日 市立小学校 書類 2件
愛知県 2022年7月27日 市立小学校 書類 33件
宮城県 2022年7月29日 県立高等学校 書類 24件
東京都 2022年7月29日 私立大学 USBメモリ 不明
愛知県 2022年8月3日 市立小学校 書類 78件
神奈川県 2022年8月15日 市立中学校 書類 1件

(3) 誤配布

神奈川県 2022年8月15日 市立保育園・保育所 書類 1件
神奈川県 2022年8月15日 市立小学校 書類 2件
神奈川県 2022年8月15日 市立小学校 書類 1件
神奈川県 2022年8月15日 市その他 書類 2件

(4) 誤掲示

北海道 2022年7月22日 市立高等学校 インターネットサービス・アプリ 13件
東京都 2022年8月9日 都立高等学校 インターネットサービス・アプリ 278件
大阪府 2022年8月15日 府立高等学校 インターネットサービス・アプリ 240件

(5) 不正アクセス

埼玉県 2022年7月29日 国立大学 システム・サーバー 電子メール 62件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

[福岡市ホームページ](#)／[守谷市公式サイト](#)／[茨城新聞クロスアイ](#)／[373news.com](#)／[Security NEXT](#)／

[宮城県公式ウェブサイト](#)／[名古屋市公式ウェブサイト](#)／[ニュースサイト「毎日新聞」](#)／[大阪府ホームページ](#)／

[NHK NEWS WEB](#)／[埼玉県ホームページ](#)／[川崎市ホームページ](#)／[Yahoo!ニュース](#)／[ScanNetSecurity](#)／[横浜市ウェブサイト](#)／



□ 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆ICT を活用したこれからの英語教育◆

慶應義塾大学 非常勤講師 吉原 学

今年で英語教育に携わって 30 年目を迎えます。

この 10 年は、特に ICT を活用した英語教授法を実践的に研究しています。

今回、私が思う「ICT を活用したこれからの英語教育」を

読者の皆さまに紹介させていただきます。

本論に入る前に、個人的な経験から感じている、

学習者が英語を学ぶ上で気をつけなければならない重要なポイントをまず共有させてください。

- ①何のために英語を学ぶのか、いつまでにどのレベルにまでに到達したいのかを明確にすること
- ②英語と日本語の違いを知ること（母語干渉をなくすること、英語らしさを感じることに）
- ③自分にとって適切な教材で、適切な手段を活用した有機的な学習方法で学ぶこと
- ④人は忘れるということを記憶にとどめていくこと（忘却曲線、反復練習）
- ⑤人は苦手意識があるものに対し、

集中力は長く続かないことを記憶にとどめていくこと（隙間時間の有効活用）

- ⑥楽しさを感じられること（education + entertainment = edutainment）
- ⑦つらさや楽しさを共有できる仲間がいること（つながり）

この中で、今回は主に③に焦点を当ててお話をさせていただきます。

まず、学習がしらげず英語を学ぶには、

使用する教材が“MAP（Meaningful、Authentic、Personal）”を持つようにデザインされていることが重要です。

MAP な教材がそろえば、

次はそれを使用してどのように学習を進めるかがカギとなります。

従来の対面式授業、CaLabo®EX などの CALL システムを活用した授業、

CaLabo®MX などの MALL システムを活用した授業をどのようにうまく取り込んで、

年間の、月間の、週間の、日々の学習スケジュールを組み立てることが極めて重要です。

皆さまご存じのように言語は毎日、継続的に、

そしてシームレス（seamless）に学ぶことで成長します。

言い換えれば、長期休暇などの学校のない日、英語の授業のない日、

そして通学途中などの隙間時間を上手に利用し、

継続的に英語を学ぶことができればいいこととなります。

これを実現可能にするのが、MALL システムです。

MALL システムの機能（利点）を最大限に活用して、
1 回 15 分程度で完結する多読多聴練習や音読練習、
さらに文法・語彙などの小テストを行うことができ英語運用能力を高められます。
さらに、個別学習の履歴がしっかりと残り、
そのデータを基に教員が学習者の学習状況がどのように進んでいるか、
どの部分で学習が滞っているのかなどを把握し適切なアドバイスをすることが可能になります。
また、より公平で、客観的に生徒（学生）を評価するときにも
このデータを利用することができます。
このように、ICT、特に MALL システムをうまく授業に取り込み活用していくのかを
これからの教員は求められると思われます。
最後に、MALL システムなど、
新しいテクノロジーを導入する際の注意点を共有させてください。
必ず教員は MALL システムをどのように、どのくらい、どの部分に使用するのかを
明確にしておくことが肝心です。
また、それを実現するための学習環境（セキュリティ関係、WiFi 関係、デバイス関係など）に関しては、
専門知識と経験を持った専門家集団に相談することが重要です。
見切り発進をすると、後で後悔することになります。
成功のカギは、「事前準備」と「学習と練習」、そして「熱意」です。

◆ 執筆者プロフィール ◆

吉原 学（よしはら・まなぶ） /
マナビ・クリエーション アカデミックアドバイザー
慶應義塾大学非常勤講師

サンフランシスコ大学教育学研究科英語教授法専攻修士課程修了後、
社会人や中学生から大学生までの指導、教材作成、カリキュラム策定をはじめ、
英和辞典の執筆、高等学校検定教科書の編集委員など、
英語教育の幅広い分野で活動する。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、6 月 10 日に「令和 3 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい
事故の発生状況」調査報告書（第 1 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会 (ISEN)

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階 (株式会社 JMC 内)

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>